

## 収量アップし順調に収穫 フルーツマト「フルティカ」



▲「フルティカ」の生育状況を確認する伊藤さん(右)

農事組合法人ファーム北平田のハウスでフルーツマト「フルティカ」の収穫が順調に行われています。同法人では高糖度トマトの周年栽培に取り組み、「フルティカ」は「庄内ルビー」の名称でみどりファン倶楽部や関東地方の市場、大手百貨店「伊勢丹」へ出荷しています。1月21日には同法人社員の伊藤貴之さんとJAの園芸課職員が生育状況の確認を行いました。伊藤さんは現在の状況について「収量アップが課題だったが、作付2年目の今は目標収量を達成している。気候に合わせた灌水管理を徹底したことが結果につながり大変うれしい」と喜びを語りました。「フルティカ」の収穫・出荷は7月まで続く予定です。

## 管内産米の提供を形にしてPR 飲食店にトロフィーとポップを贈呈

当JAでは12月までに管内産米を提供する飲食店へトロフィーとポップを贈呈しました。この取り組みは、JA庄内みどりの未来を考える会のプロジェクトの一環で、管内産米の使用を明記したトロフィーとポップを店内に設置してもらうことで「JA庄内みどりの米」をお客様に見える形でPRすることが目的です。12月にトロフィーとポップを受け取ったホテルイン酒田の久松健料理長は「当ホテルでは『つや姫』を提供している。トロフィーとポップを設置することで、より一層自信を持ってお客様にJAのブランド米を食べていただける」と笑顔で話していました。



▲トロフィーを受け取り笑顔の久松料理長(左)

## 平成最後の奉仕活動 女性部が皇居勤労奉仕行う



▲快晴のもと、皇居前で記念撮影しました

女性部は1月28日から31日の4日間、皇居勤労奉仕団として、皇居や赤坂御用地で除草や落ち葉などの清掃奉仕に汗を流しました。団長は佐藤みさ子さん(平田支部)で、部員29人が参加しました。今回は平成最後の奉仕活動。勤労奉仕期間中は天候に恵まれ、参加した部員は「期間中、天皇后両陛下と皇太子殿下からご会釈をいただき大変感動した。全員元気に無事に務めを終えることができ、部員の結束もより固くなった」と感想を話していました。